

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

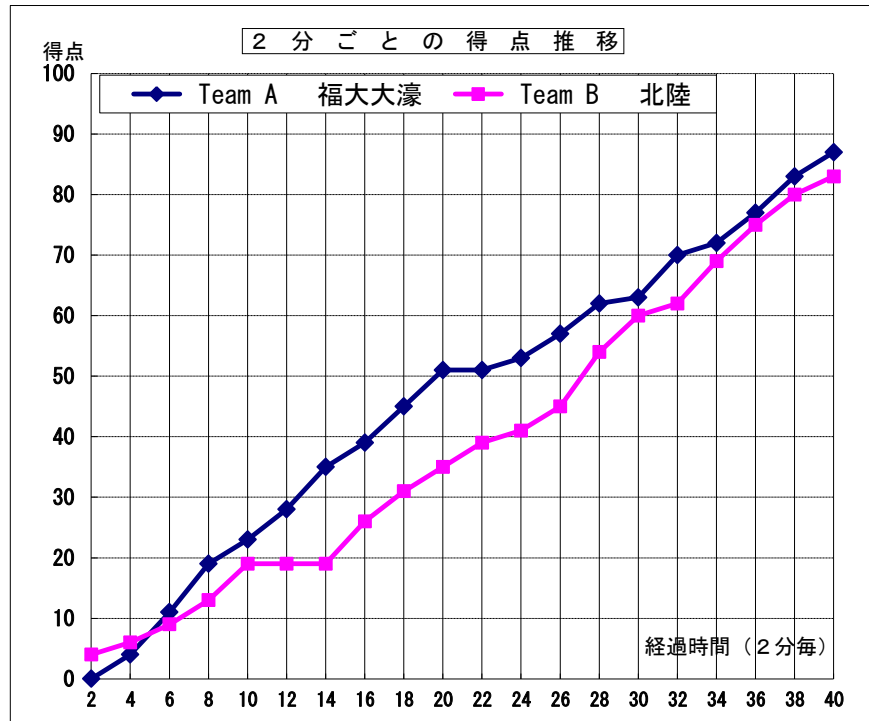
男子 4回戦

試合日	2013年8月1日
開始時間	13:20
会場	べっぴアリーナ
コート	M
試合順	3

Team A		Team B
福大大濠	87	83
福岡県		福井県

Team A 福大大濠		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	◎	青木 保憲	18	4	10	3	4	0	0	2	0	5	5	1	3	1	0	38:51
5		堤 大喜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	01:09
6		金丸 亮太	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	01:09
7	◎	葛原 大智	8	0	1	4	9	0	0	3	5	10	15	6	1	1	2	36:23
8		牧 隼利	2	0	0	1	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	11:39
9		松尾 啓輔	4	0	0	2	3	0	0	4	3	2	5	0	1	0	3	25:24
10		増田 啓介	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
11		鳥羽 陽介	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	02:28
12		帯刀 滉暉	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	01:09
13	◎	津山 尚大	22	2	9	8	11	0	0	1	2	1	3	2	1	0	1	38:51
14	◎	杉浦 佑成	29	0	5	14	27	1	3	3	4	9	13	2	0	0	1	40:00
15	◎	野口 夏来	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	02:57
Team / Coach:		片峯 聡太								0	1	0	1					0
合計			87	6	25	34	63	1	3	15	17	31	48	11	6	3	7	200
RATE				24.0%		54.0%		33.3%										

Team B 北陸		PTS	3P		2P		FT		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT	
No.	S		選手名	成功	試投	成功	試投	成功		試投	OR	DR						TOT
4	◎	柿内 輝心	24	4	5	6	15	0	0	0	1	4	5	7	1	0	2	39:12
5	◎	竹内 一真	16	3	7	3	7	1	4	4	1	1	2	3	0	1	3	39:09
6	◎	佐藤 大地	2	0	5	1	4	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	26:11
7		八角 亮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
8		緒方 堅也	4	0	0	2	5	0	0	1	2	3	5	2	0	0	3	24:47
9	◎	熊澤 和起	10	0	0	4	5	2	2	3	2	3	5	0	0	0	0	30:41
10	◎	郭 磊	27	0	0	13	21	1	5	2	5	15	20	3	0	0	1	40:00
11		清水 子清	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
12		大崎 翔太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
13		松山 駿	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
14		中村 ジャズ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
15		近藤 元樹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	00:00
Team / Coach:		久井 茂稔								0	3	0	3					0
合計			83	7	17	29	57	4	11	10	14	26	40	18	3	1	9	200
RATE				41.2%		50.9%		36.4%										



タイムアウトは経過時間で表示しています

CTO	1・2P	3・4P	OT 1	OT 2	OT 3	OT 4
TeamA	15:33	17:32	22:20	33:22		
TeamB	06:22	12:38	32:36	36:57	39:59	

戦評

第1ピリオド、両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。北陸は#10のインサイドを中心に攻める。一方、福大大濠は#4や#7のジャンプシュートで応酬する。残り4分福大大濠#13の3Pとドライブによる連続得点により逆転。残り3分38秒4点差をつけられたところで、北陸が前半1回目のタイムアウト。その後、両チームとも的確にシュートを決めていき、第1ピリオドは23-19で福大大濠が4点リードのまま終了。第2ピリオドに入り、福大大濠の固いDefにゴールがなかなか決まらない北陸に対して、福大大濠は#4、#13の3P、#14の1on1で着実に加点していく。北陸はたまたま前半2回目のタイムアウトを取るが、その後も福大大濠の勢いは止まらず、一方の北陸は#10のリング下シュートによる2得点のみ。残り4分30秒を切ったあたりから、北陸は#5のジャンプシュートや#4の3Pで反撃を開始する。しかし、福大大濠は#13の3連続得点により突き放す。第2ピリオド終了間際、北陸も#8の連続得点により追いつくが、結局第2ピリオドは51-35で福大大濠がリードを広げて終了。

第3ピリオドは北陸のDefが機能して、残り5分まで福大大濠が#14の1on1による2得点のみ。その間、北陸はインサイドでの#10の連続得点により徐々に点差を詰める。その後も北陸は#5の3P、#10によるインサイドシュートで加点し続け、63-60と3点差まで北陸が追いつき第3ピリオドを終了。第4ピリオドは福大大濠#14の1on1や#4の3Pが決まり、点差を再び10点まで広げる。だが、そこから北陸#5の3Pや速攻からのレイアップでまた5点差まで詰めより、残り5分には#4の3Pでついに同点に追いつく。しかし、福大大濠も#4の3Pやスティールからのレイアップで再び6点差とする。その後、北陸は#5の3Pや#9のジャンプシュート、福大大濠は#13のジャンプシュートやレイアップが決まるなど一進一退の攻防が続くが、最後は粘る北陸を福大大濠が87-83で振り切った。

主審	清水 幹治	副審	松本 究	戦評	岡 明弘
----	-------	----	------	----	------